

白子クリニック

三重県鈴鹿市南江島町

主な用途:診療所(産婦人科) / 敷地面積:1,341.13㎡ / 建築面積:816.05㎡ / 述べ面積:2,829.95㎡

設計担当

坂田 啓治 / 中尾 隆 / 黒田 修弘



3タイプのしつらえとした病室



北面外観全景



診察室

内装の特殊エッチングガラス

東面外観



外観夕景



受付

地域医療の中核を担う産婦人科クリニックの移転・新築計画である。いのちが生まれる神秘さ、母親の優しいほほえみ、それを囲む家族の温かい愛情、赤ちゃんの穏やかな笑顔から、「やわらかさ・優しさ」、女性の美しさとしての「繊細かつ品格と華やかさ」といった言葉を連想し、それらを表現したいと考えた。

メインアプローチとなる北面は、シンプルな全体構成とした外壁を大きなガラススクリーンによって覆い、内部照明の柔らかい光が夕景を演出している。ガラス面のデザインに取り入れた植物のモチーフは、上へ上へと伸び、すくすくと育つ赤ちゃんの力強さと、しなやかな曲線による女性のおやかさを表現している。

内部は1階に診察エリア、2階より上部に病室・エステ等を配した構成とし、3種類ある病室は、従来よりも広いスペースを確保し、より快適な時間を過ごす事ができる。

また、免震構造を採用し、万が一の際にも赤ちゃん・母親・医療スタッフが安全でいられる事を目指した。「無事に生まれ、元気に育ってほしい」という、母親・家族からわが子への純粋な想い、豊かな幸せの瞬間の手助けができればと願い計画した。



待合室